

(様式3)

農業研究成果情報

No.483

(平成22年5月)分類コード02-04

熊本県農林水産部

早期水稲後作における極早生タマネギの安定生産技術

早期水稲後作における極早生タマネギは畝高を20cm以上にすることで、畝高10cmと比較して14～48%収量が増加する。品種については、「博多こがねEX」が収量、品質に優れる。

農業研究センター天草農業研究所(担当者:橋本直樹)

研究のねらい

天草地域では早期水稲の後作として、極早生タマネギが栽培されているが、収量が畑作と比較して低い状況にあり、原因として排水不良が考えられる。本試験では、湿害対策及び品種の選定により収量増、品質向上を目指す。

研究の成果

1. 全ての供試品種において、畝高を20cm以上にすることで、畝高10cmと比較して14～48%収量が増加した。20cm区と30cm区を比較すると、「博多こがねEX」が30cm区でさらに収量が増加した。逆に「春一番」「浜笑」は収量が減少した(表1)。
2. 品種については、「博多こがねEX」が収量も良く、球茎も1に近く有望である(表1、表2、表3)。

普及上の留意点

1. 本試験は、平成19年11月12日定植、平成20年3月24日収穫である。施肥量は、N:P₂O₅:K₂O=1.8:2.5:1.8kg/aで実施。次作の水稲については、倒伏等の被害は見られなかった。
2. 畝形成機での畝の高さは20cm程度が限界である。
3. 収穫直前の3月以降は降水量が多いため、高畝は有効な方法である。試験時の降水量は図1のとおりである。

表1 畝高の相違による収量の違い

	畝 高		
	10cm	20cm	30cm
	kg/a	kg/a	kg/a
早生浜ゆたか	313(100) ^z	375(120)	386(123)
貴錦	348(100)	415(120)	429(123)
博多こがねEX	299(100)	383(128)	442(148)
春一番	313(100)	418(133)	334(107)
濱の宝	364(100)	418(115)	421(116)
浜笑	372(100)	426(115)	407(109)

^z()内は各品種の畝高10cm区を100としたときの比

表2 畝高20cmでの各品種の特性

	球重(g)	球茎(mm)	球高(mm)	玉首径(mm)	球茎指数 ^z	分球率(%)	抽苔率(%)
早生浜ゆたか	139	66.3	67.6	16.7	0.98	0	0
貴錦	154	64.3	68.5	17.8	0.94	0	0
博多こがねEX	142	67.0	66.5	16.8	1.01	0	0
春一番	155	70.3	67.3	16.6	1.04	0	0
濱の宝	155	66.6	74.4	18.5	0.90	0	0
浜笑	158	68.0	71.5	17.7	0.95	0	0

^z球茎指数については球径÷球高とした

表3 畝高30cmでの各品種の特性

	球重(g)	球茎(mm)	球高(mm)	玉首径(mm)	球茎指数 ^z	分球率(%)	抽苔率(%)
早生浜ゆたか	143	68.5	64.6	17.4	1.06	0	0
貴錦	159	66.7	76.0	19.2	0.88	0	0
博多こがねEX	164	71.7	69.3	16.6	1.03	0	0
春一番	124	64.4	64.5	16.9	1.00	0	0
濱の宝	156	65.6	79.2	18.6	0.83	0	0
浜笑	151	67.8	74.1	18.6	0.91	0	0

^z球茎指数については球径÷球高とした

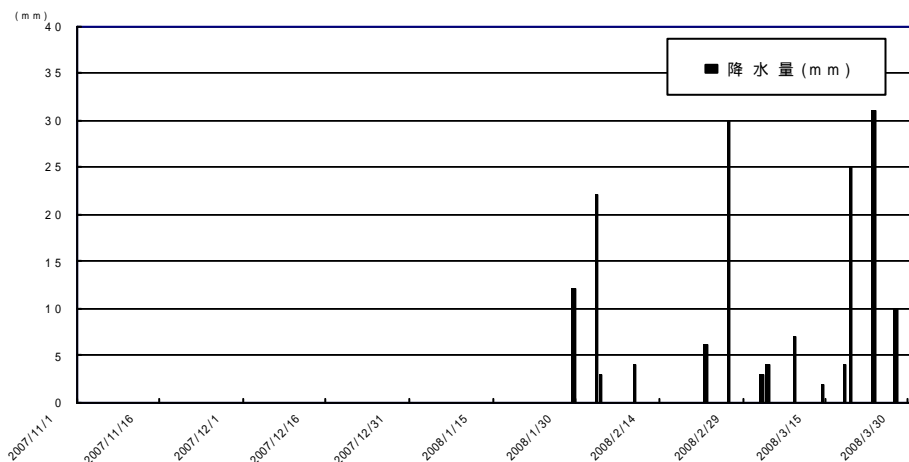


図1 降水量の推移